

4月所感

『夢をかなえ 人をつくる 狭山の教育』に向けて

狭山市立教育センター
所長 稲葉 正

桜花爛漫の言葉が実感できる春となりました。期待に胸ふくらませながら、入学式・入園式に向かう子供たち。少し大きめの制服に身を包んだ中学一年生。新しい年度がそれぞれの思いをのせスタートしました。学校では、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、引き続き新しい生活様式を取り入れた教育活動が展開されることとなります。一刻も早い感染拡大の収束を願っております。

さて、新年度のスタートに当たり、さやまっ子には、「自分は〇〇〇になりたい」「〇〇〇な自分になりたい」など、まずは一人一人将来の夢を持ってもらいたいと思っています。そして、保護者・地域の方々にはさやまっ子の夢の実現に向けて応援してもらいたいと思います。子供たちの可能性は無限大です。その夢をかなえるための生きる力が身に付くよう応援していきましょう。

当センターにおきましても、①学力向上推進 ②国際理解教育推進 ③教職員研修 ④調査研究 ⑤教育相談 ⑥教育情報ネットワークの事業を重点に展開してまいります。特に今年度は、「狭山市GIGAスクール構想の実現」に向けて、児童生徒に1人1台端末（学習用タブレット）等を整備し、授業においてICTの活用によって学習活動の一層の充実と主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を支援してまいります。

今年度も引き続き、さやまっ子の健やかな成長を信じて、職員一同全力を尽くしてまいります。本センターでの事業への御理解、御協力のほどよろしくお願いいたします。



教育センター窓口（4月）